

名 称	低温実験室（塩沢）		
概 要	マイナス温度の環境を作りだす。次のような試験に使用できます。 ・各種材料の低温特性試験 ・着氷雪現象の模型試験 ・その他雪や氷に関する各種試験		
特徴・諸元	-30～+10℃（第1低温実験室）及び-50～-25℃（第2低温実験室）の低温環境を±1℃の精度で再現します。 ◆主要諸元		
	[第1低温実験室（-30～+10℃）] [第2低温実験室（-50～-25℃）]	室内寸法8.5m×3.0m×（高さ）2.5mプログラム制御可 室内寸法3.5m×2.1m×（高さ）2.1m	
	低温実験室（入口） 		
担当部署	防災技術研究部 気象防災		

名 称	高速回転円盤装置（塩沢）			
概 要	低温実験室内に設置された直径5mの円盤を高速で回転させることにより、最高200km/hまでの速度下で発生する現象を再現することができます。 ・列車走行に起因する雪の舞い上がりに関する試験 ・高速摩擦に関する試験 ・高速現象に関する安全性評価の検討			
特徴・諸元	油圧制御により直径5mの円盤を最大250rpmで回転させることが可能です。 ◆主要諸元			
	[円盤直径] [円盤回転数] [室内温度環境]	5m 最大250rpm -30～0℃（1℃単位で設定可能）	[載荷荷重] [回転速度]	最大 20kg 最大 200km/h
	装置外観 			
担当部署	防災技術研究部 気象防災			